

# 鈴子町内会 自主避難計画

当町内会では、住民全員が**雨の量**や**周辺の様子**に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

## ① 日頃からやっておくこと

- 洪水・土砂災害緊急避難地図（中面）を参考に、自宅周辺の**比較的安全と思われる場所や建物**、**避難経路**、**住民間の連絡方法**を確認しておきましょう。
- カップ酒の瓶などを用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。

## ② 雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

- 道路が冠水していないか、家の外の様子を確認しましょう。
- 雨量や甲子川の水位に関する情報を積極的に収集しましょう。

## ③ 自主避難基準に達したら、町内会役員等に報告し、それぞれがすぐに避難対応！ →状況を共有して町内会みんなで避難対応！

**自主避難基準** 以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

### ☐ 釜石市役所が“避難勧告”、“避難指示（緊急）”を発令した場合

※上記以外の状況でも避難が必要と思う状況になった場合や、台風接近などで早い段階で大雨が予想される場合においても、身を守ることを第一に考えた避難対応をしましょう。

### いざというときの避難対応

遠くまでの避難が困難な場合には、周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。

#### → 比較的安全と思われる場所や建物へ避難

- 釜石市教育センター（5階建）
- シープラザ釜石（2階建）
- アンビシャス21（4階建）

すでに道路が冠水しているなど、移動に危険が伴う場合は、

#### → 自宅や最寄の建物の2階以上へ避難

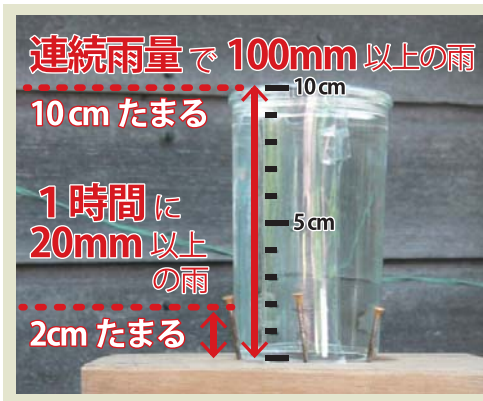


※このような状況になる前に避難を決断することが重要です

※この計画は平成29年10～12月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、鈴子町内会として検討したものです。

## ! 雨量に注意する習慣をつけましょう

気象予報などを見るときには、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。右図の雨量は土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。当町内会では、雨量と道路の冠水などの関係に気を配る習慣をつけましょう。



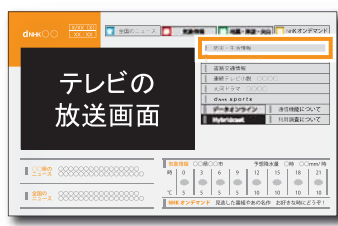
高さ10cmのカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です

## ! 情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう



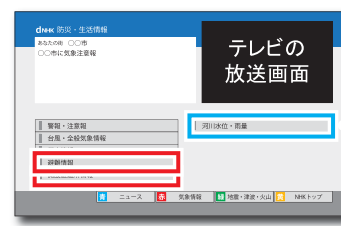
データ放送での確認方法 地デジテレビでNHK（地デジ1ch）を選択し、リモコンの**d**ボタンを選択

### ① 防災・生活情報を選択



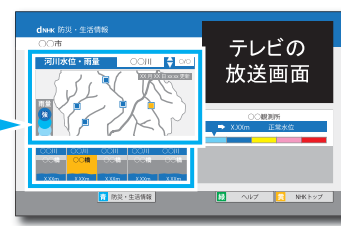
（テレビ画面イメージ図）

### ② 確認したい情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

### ③ 河川の水位・雨量を確認



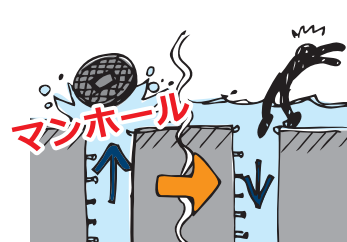
（テレビ画面イメージ図）

## ! 万が一、浸水の中を避難するときは注意しましょう

### 浸水時の避難はとても危険です



浅い浸水でも足元をとられる!



マンホールに吸い込まれる!



周囲より低い道路は冠水しやすい!

### 自宅に留まる場合

浸水の影響で、水道・電気・ガスなどが3日から1週間以上使えなくなる可能性があります。



最低でも3日分

釜石市 釜石地区  
洪水・土砂災害緊急避難地図

鈴子町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

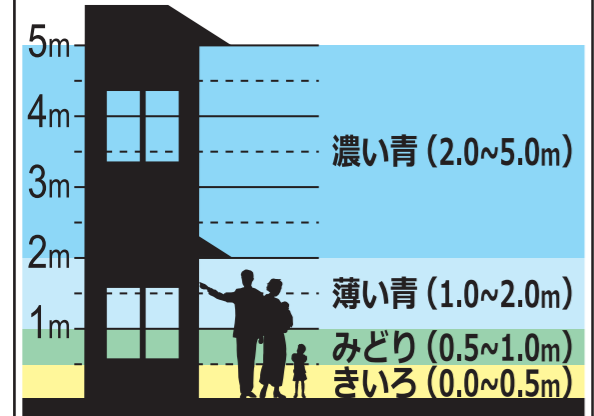
住民懇談会で把握した情報

- 比較的安全と思われる場所や建物
- 自主避難の基準
- 大雨が降ると確認されるいつもと違う現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄

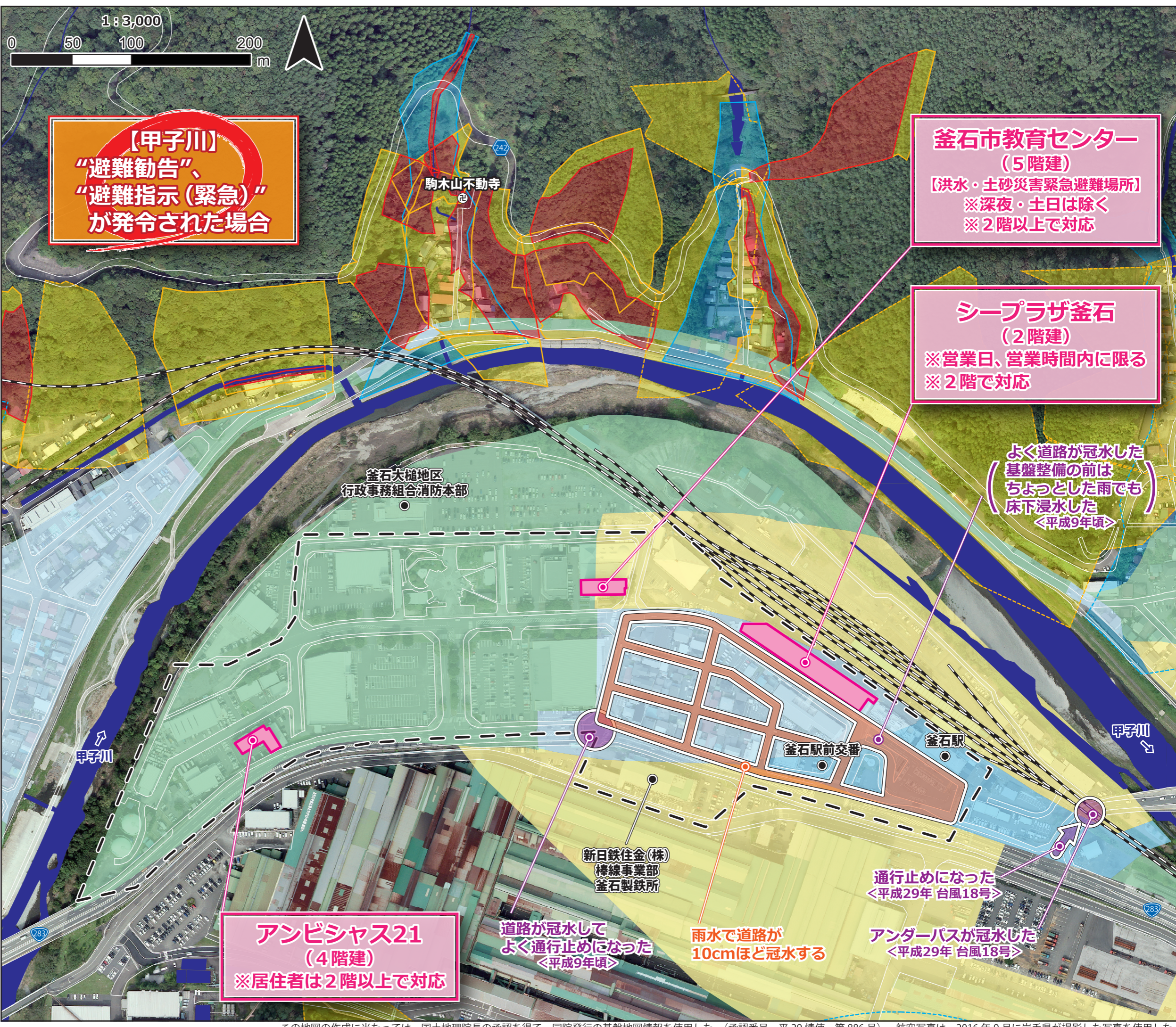
土砂災害の危険性  
(岩手県砂防基礎調査結果および土砂災害対策検討図に基づく)

- 土砂災害の危険性が**特に高い**区域 (急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)・土石流)
  - 土砂災害の危険性が**高い**区域 (急傾斜地(がけ崩れ)の崩壊)
  - 土砂災害の危険性が**高い**区域 (土石流)
- 机上調査での結果を示しています。そのため、現地調査の結果によっては、範囲が修正となることがあります。

洪水ハザードマップ  
(甲子川浸水想定区域図に基づく)



【平成30年3月作成】



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 29 情使、第 886 号) 航空写真は、2016年9月に岩手県が撮影した写真を使用した。